

令和5年度（10月） 第7回浜北区協議会 次第

日時：令和5年10月12日（木）午後1時30分から

会場：浜北区役所 大会議室（なゆた・浜北3階）

1 開 会

2 議 事

（1）諮問事項に対する答申

令和6年度区役所費予算要求の概要について【資料1】

（2）報告事項

協働センターを核とした地域課題解決事業について（1件）【資料2】

3 その他

（1）その他

地域課題等について（会長提案）

（2）次回開催日程について

4 閉 会

第10号様式

第1号

令和5年10月12日

(あて先) 浜松市長

浜北区協議会

会長 野中 敬 印

諮問事項に対する答申について

令和5年9月21日付け浜市協第93号で当協議会に対して諮問のあったことについて、浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例第11条第1項から第3項の規定に基づき審議した結果、下記のとおり答申します。

記

1 答申内容 別紙第11号様式のとおり

(案)

第11号様式

諮問事項に対する答申書

浜北区協議会

件名	令和6年度区役所費の予算要求の概要について
諮問内容	令和6年度区役所費の予算要求の概要について区協議会に諮問するもの。
答申	諮問内容について審議の結果、適切であると認めます。
備考	

(参考)

資料 1

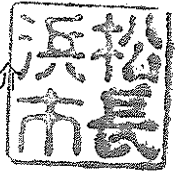
第 8 号様式

浜市協第 93 号

令和 5 年 9 月 21 日

浜北区協議会 様

浜松市長 中野 祐介



区協議会への諮問について

浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例第 11 条第 3 項の規定に基づき、
下記のとおり諮問します。

記

- 1 諮問内容 別紙第 9 号様式のとおり
- 2 答申期限 別紙第 9 号様式に記載された期限のとおり

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和6年度区役所費予算要求の概要について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	令和6年度浜松市予算の編成に関して、浜北区：浜名区役所費（現浜北区分）の予算要求を行う。				
対象の区協議会	浜北区協議会				
内 容	令和6年度浜北区：浜名区役所費（現浜北区分）の予算要求の概要について諮問するもの。 ・浜名区役所費：現浜北区役所費 +現北区役所費（三方原地区分を除く）				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	答申 令和5年10月				
担当課	浜北区振興課	担当者	金原 由直	電話	585-1141

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

R6年度_浜名区役所費当初予算要求総括表[浜北区分]

230921_現在

事項	R6年度 予算額 A (単位:円)	R5年度 予算額 B (単位:円)	前年比	
			A-B (単位:円)	内容等
人件費(職員人件費を除く)	1,662,000	1,636,000	26,000	-
附属機関の委員等(区代表会等委員報酬)	1,657,000	1,631,000	26,000	区代表会及び区地域協議会等に係る委員報酬
嘱託(協働センター)	5,000	5,000	0	協働センターで職員不在時の施設利用許可業務に対応したシルバー人材センター会員に対する報酬
区管理運営事業	167,387,000	106,335,000	61,052,000	-
区役所運営事業	10,120,000	9,128,000	992,000	浜名区役所の運営に要する経費
公有財産維持管理事業	10,011,000	8,311,000	1,700,000	浜名区内の普通財産(行政財産以外の土地・建物等)管理に要する経費
庁舎維持管理事業	138,030,000	81,163,000	56,867,000	浜名区役所の維持管理に要する経費
公用自動車管理事業	9,226,000	7,733,000	1,493,000	浜名区役所の公用車管理及び運用に要する経費
協働センター等管理運営事業	45,482,000	43,196,000	2,286,000	浜名区内の各協働センターの管理運用に要する経費
収入印紙等売りさばき事業	11,433,000	11,852,000	△ 419,000	浜名区役所の収入印紙売りさばき事業に要する経費
区協議会運営事業	157,000	133,000	24,000	浜名区代表会及び地域協議会の運営に要する経費
地域力向上事業	13,260,000	12,518,000	742,000	-
市民提案による住みよい地域づくり事業	3,000,000	3,000,000	0	市民協働の理念のもと、市民提案やアイデアを基に実行する事業に対する補助金
区民活動・文化振興事業	9,660,000	8,918,000	742,000	浜北市民文化祭や浜北産業祭、浜北植木まつりなどの地域の活性化に要する経費
協働センター等を核とした地域課題解決事業	600,000	600,000	0	協働センターを核とした地域の課題解決に要する経費
行政連絡文書配布事業	40,694,000	39,277,000	1,417,000	浜名区民に対する行政連絡文書の配布に要する経費
自治会振興事業	35,322,000	30,431,000	4,891,000	-
自治会集会所整備助成事業(補助金)	12,906,000	9,648,000	3,258,000	浜名区内の各自治会が所有する集会所に係る施設整備に対する補助金
防犯灯設置維持管理助成事業(補助金)	22,416,000	20,783,000	1,633,000	防犯灯設置及び維持管理(電気料・修繕費)に対する補助金
遠州はまきた飛竜まつり開催事業	14,705,000	9,351,000	5,354,000	例年5月に開催される遠州はまきた飛竜まつりの開催に対する負担金
浜北万葉まつり開催事業	4,000,000	4,000,000	0	例年10月に開催される浜北万葉まつりの開催に要する経費
区役所デジタル運営経費【新規】	1,151,000	0	1,151,000	区再編に伴う移動コスト等の縮減を目的とした、Chromebook/リース等のデジタルに要する経費
合計	321,993,000	246,211,000	75,782,000	

※予算要求額については暫定値のため、今後、変更の可能性があります。

第 9 号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	「交通事故のない安全な内野地区をめざして ～交通危険箇所マップの作成～」				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>○背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内野地区は地区内に飛竜街道、南端に浜松環状線の幹線道路が通り、染地台では工業団地の立地が進むなど、近年交通量が増加している。市道大原 2 号線の全通により一層の交通量の増加が見込まれる。 ・内野台では高齢化率が 40%前後に達し、高齢ドライバーが増加している。一方で染地台では若年人口が多く、地区内の内野小学校に通う児童は 1300 人を超え、登下校時の安全確保が課題となっている。 <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、地域住民の意見をもとに道路の危険箇所を洗い出し、危険箇所マップを作成し全戸配布する。危険情報を地域全体で共有し、地域ぐるみで交通事故のない内野地区を目指す。 				
対象の区協議会	浜北区協議会				
内 容	<p>○業務内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域住民から危険箇所の情報を集約。 ② 危険箇所の現地確認・写真撮影。 ③ 危険箇所マップの原稿作成(原稿への写真の落とし込みを含む)、校正、印刷。 ④ 危険箇所マップを全戸配布。(約 8 0 0 0 部) ⑤ 地域の学校・事業所への贈呈。危険箇所・交通安全についての報告会の開催。 				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)					
担当課	浜北区まちづくり 推進課(浜名協働セ ンター)	担当者	井田 正人	電話	5 8 7 - 4 1 3 4

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

協働センターを核とした地域課題解決事業について

浜北区まちづくり推進課

1 事業名

交通事故のない安全な内野地区をめざして～交通危険箇所マップの作成～

2 目的

内野地区は地区内に飛龍街道、南端に浜松環状線の幹線道路が通り、染地台では工業団地の立地が進むなど、近年交通量が増加している。市道大原2号線の全通により一層の交通量の増加が見込まれる。

また内野台では高齢化率が40%前後に達し、高齢ドライバーが増加している。一方で染地台では若年人口が多く、地区内の内野小学校に通う児童は1300人を超え、登下校時の安全確保が課題となっている。

今回、地域住民の意見をもとに道路の危険箇所を洗い出し、危険箇所マップを作成し地区内へ全戸配布する。

危険情報を地域全体で共有し、地域ぐるみで交通事故のない内野地区を目指す。

3 事業内容

- (1) 地域住民から危険箇所の情報を集約。
- (2) 危険箇所の現地確認・写真撮影。
- (3) 危険箇所マップの原稿作成（原稿への写真の落とし込みを含む）、校正、印刷。
- (4) 危険箇所マップを全戸配布。
- (5) 地域の学校・事業所への贈呈。危険箇所・交通安全についての報告会の開催。

4 事業実施

- ・実施方法 業務委託
- ・委託先 内野・内野台・染地台地区安全推進協議会
- ・委託金額 200千円

5 事業効果

- (1) 危険箇所を地図に取り込んで「見える化」することにより、周辺の交通需要・動線を踏まえつつ、適正な信号機・横断歩道・ミラー・ガードレール等の配置要望につなげることができる。
- (2) 今回の危険箇所マップの作成が、地域住民の交通環境への意識を醸成し、人員が手薄な交通安全・防犯の見守りボランティアの拡充にもつなげることができる。